

「被災地派遣報告」



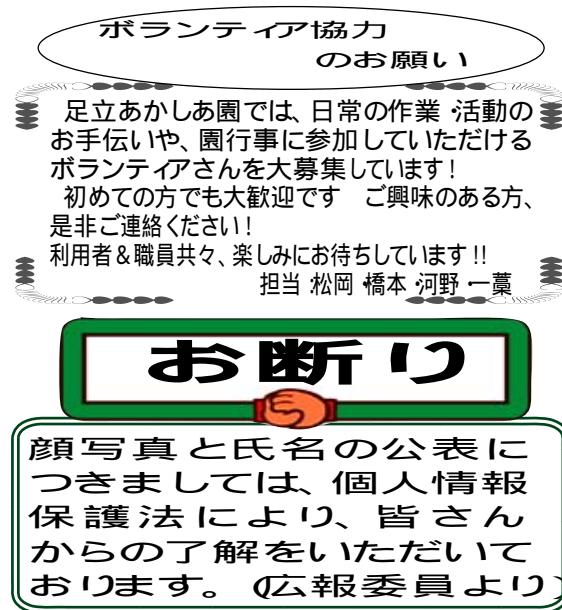
JDF(日本障害フォーラム)からの要請で、5月～6月の間で足立あかしあ園からは5名の職員が宮城県に派遣され、仙台市と登米市に分かれ、それぞれ現地で支援活動を行いました。

内容は、現地施設での支援や避難所で生活されている方々の調査活動、物資支援や相談活動など、活動は多岐に渡るものでした。被災地の様子は、石巻市や女川市など津波の被害の大きい沿岸部は、まだ復興作業に追われていました。また、避難所や仮設住宅で生活をされている方々は、身体的・精神的に疲弊している状態が見られ、特に「心のケア」への整備が必要とされていました。

今回の被災地派遣で実際に現状を目の当たりにし、自然災害の恐ろしさを感じたと同時に、災害に負けず一所懸命に生活をされている方々の力強さを感じました。いつ起こるか分からない災害に対しての備えや準備など、今私達がしなくてはならないことは何かを改めて考えさせられました。

被災者・被災地に対して、私たちが出来ることはとても小さなことかもしれません、積み重ね継続していく事で、支援の輪を広げていく事が必要だと思いました。

(高橋 記)



今後の予定

- 8/10(水)～16(火) 夏休み
- 8/30(火) 全体保護者会
- 9/25(日) 父母の会バザー
- 10/24(月) 義援バザー(代休)
- 29(土) 義援バザー

編集後記

ジメジメした梅雨が終わり、ついに夏本番です!! 暑いからといって、冷たいものの食べ過ぎには要注意です。また、外出する時には、帽子をかぶったり水分補給をしたりして、熱中症対策をしましょう!

田口 記



「思いの実現」

施設長 渡邊 正人



東日本大震災から4ヶ月が過ぎ、雪が降っていた東北の被災地も「暑さ」という困難も加わり、日々大変な思いをされています。福島の原発事故により多くの方が避難され、「故郷」への思いはとても強く、生活を築かれた場所への一日も早い帰郷と生活再建へのスタートを願わざにはいられません。

施設・法人では地域特性(地形や河川、土壤、住宅等の環境)を含めた防災計画を再構築すべく、各施設の防災担当者を集め協議を行っています。9月までには完成し、「万が一」に備えた体制を確保していきます。

先日、法人で研修会が行われました。内容は「障がい者制度改革の到達点と課題・被災障がい者支援」というテーマで弁護士よりお話をいただきました。

災害発生、避難、復興と障害があるがゆえに生じる困難はあらゆる面で生活を困難にして、家族を含め孤立させてしまう結果になっています。「障害は自己責任ではない、激甚災害も被災者自己責任であってはならない。」復興においては「被災者の人権支援、人間復興という理念に基づく制度・政策として遂行されることが大切。」と話され、まったく同感しました。

「思い」を理解・共感し、共に歩むことこそ望まれることです。「思い」を知るためにしっかり向き合いで語り合うこと、相手を理解する心の持ちようを自分の心に育てておくことが大切になります。災害地に入りこみ金銭を盗む、詐欺目的に人に近づくなど、この機を逃さずに悪事を考える族は権利を冒涜する行為であり、人間としての公共性や社会性、尊厳について学ぶ機会が無かった者達かと思います。

この東日本大震災の大好きな痛みを我が痛みと知り、私にから私達にと支援の和をつなげ大きくすることが大切ですね。

足立あかしあ園では10月29日(土)に東日本大震災支援大バザーを予定しています。また皆様にはご案内をさしあげますので、ご協力・ご支援をよろしくお願いします。

ありがとうございました。」

Cグループの園芸活動の肥料に使う米ぬかを近所のお米屋さんに頂きました。頂いた米ぬかと土を混ぜて元気な植物を育てています。ありがとうございました。



P4

カラオケ大会

7月22日(金) 今年度初の企画行事をやりました! 今年度はカラオケ大会でした。途中、美味しいご飯でお腹いっぱいになった後は、午後の部のカラオケ大会! 皆、大いに盛り上がり楽しいカラオケ大会でした。

企画から準備まで、行事委員会のみなさんありがとうございました!



P2

バイキングやりました!!



6月24日(金)に、園の一大イベントであるバイキングを行いました。

今回は「宇地原シェフおすすめバイキング」ということで賑やかな雰囲気の中、美味しいご飯でお腹いっぱい!! カナッペやパスタ、リゾットなどおしゃれなご飯がたくさんあり、どれを食べようか迷ってしまいました。デザートも種類が多く、いっぱい食べました。甘いものは別腹ですね

朝早くから作って下さった厨房の方々、お手伝い頂いたボランティアの方々、ありがとうございました!



P3